



# 風だより (2025年2月)

社会福祉法人 将友会

風の丘・上大岡東保育園

TEL 045-846-3938

FAX 045-846-3992

## 巡る時間

まだまだ寒い日が続きますね。1月には「お正月あそび週間」を設け、日本の伝統的な遊びに親しましました。けん玉やだるま落としに挑戦しながら、「もう一回やってみる!」と何度も試す姿や、福笑いで楽しげな声があちこちで響いていました。糸巻ごまをうまく回せるようになり、得意げな表情を見せる子もいました。普段はあまりなじみのない遊びを通じて、集中力や手先の使い方を直感的に捉ええながら、友達と一緒に楽しみ喜びを分かち合っていたようです。

さて、2月には各クラスで懇談会を予定しています。この1年の保育園での生活を振り返りながら、子どもたちの成長を共有する大切な機会となればと思っています。園での様子だけでなく、ご家庭での成長を感じるエピソードや、子どもたちの誇らしい瞬間などもぜひお聞かせください。特に、年長のきりん組さんにとっては、これが最後のクラス懇談会となります。小学校への期待や不安、楽しみにしていることなどもお話しいただければと思います。また、クラス懇談会は、保護者どうしがつながる機会でもあります。子どもたちの園生活をより楽しく、充実したものにしていくために、お互いの気づきや経験を共有しながら、温かなつながりを育てていければと思います。

今年度も残りわずかとなりましたが、子どもたちが自信を持って次のステップへ進めるよう、園全体でしっかりと支えてまいります。今月もよろしくお祈りします。  
(園長 前田一徳)

## 2月の予定

2月 3日	節分
2月 4日	きりん組懇談会
2月 5日	ぱんだ組懇談会
2月10日	SUMO(すもう教室)
2月14日	こあら組懇談会
2月18日	三者協議会
2月19日	一緒に遊ぼう会【きりん組】
2月20日	うさぎ組懇談会
2月26日	避難訓練
2月28日	りす組懇談会

## SUMO(すもう教室)

幼児期の体づくり運動と共に、国技である相撲に親んでもらえたらと思います。当日は熊本から相撲部の中学生が来てくれます!

### 【四股踏みの効果】

- ◎下半身の筋力アップ
- ◎股関節の柔軟性アップ
- ◎バランス力の向上

## 節分

「節分」とは季節の変わり目という意味で、今は主に立春の前だけを言います。悪いものや災いにたとえた鬼を、豆をまいて追い払い、1年の無病息災を願います。今年の風の丘・上大岡東保育園では子どもたち自身が交代で鬼になって投げ合って豆まきをしたり、おやつで恵方巻を食べたりして節分を楽しみます。1月から金棒やおめんを作っている姿が見られ、楽しみにしています。

## 感染症が流行しています

発熱・下痢・嘔吐が伴う感染症が流行しています。下痢や嘔吐の症状がある場合、脱水症状を起こす場合があります。水分補給に注意してください。また、インフルエンザも流行しています。症状がでてからすぐに検査しても正しい結果が出ないことがありますので、症状が出てから12~48時間を目途に受診していただきますようお願いいたします。また、病院受診していただき、診断がつかましたらコドモンや電話で早めにご連絡ください。

## 【おねがい】

きょうだいで在園しているご家庭は、登園時は上のお子さまから預け、降園時は下のお子さまからお迎えをお願いいたします。  
(※下のお子さまのお仕度の間、上のお子さまの安全面を考慮したお願いとなりますのでご協力宜しくお願い致します)



## クラスだより (2025年2月)



秋にうさぎ組さんと植えたブロッコリーとじゃがいもの苗が大きくなり収穫できるサイズになったので収穫しました。ブロッコリーは大きくなる過程を戶外遊びをしながらみていたのでなんだか愛着が湧いていた子どもたち。みんなで「おおきなかぶ」のように「うんとこしょ、どっこいしょ」と力いっぱい抜きました。じゃがいもは「これはなんだろう」という不思議そうな表情でみつめて、「お芋よ」というとはっとしていました。どちらもお給食と一緒に出してもらい、みんなで新鮮なお野菜をモリモリ食べました。まだ、ブロッコリーはたくさん育ちそうなので楽しみにしています。



畑やプランターでブロッコリーとじゃがいもを育ててきました。ブロッコリーは苗と種を同時に植え、苗の物は12月に収穫し種の方は今も順調に育っています。「赤ちゃんブロッコリーができていく」「明日はもっと大きくなっているかな」と生長を喜び収穫を楽しみにしていました。実際の収穫時には「葉っぱは青虫が食べちゃった」など発見があったようです。1月にはじゃがいもの収穫をしました。土を掘り中から出てくると「大きいのとれた」と興奮気味に見せてくれました。調理の先生に渡して昼食ではほくほくのじゃがいもを食べました。野菜栽培を通して図鑑で写真を見るなどして食べ物への興味に繋がったようです。



秋に植えた冬の野菜がすくすく育っています。ミニ白菜は葉が上に伸びるようスズランテープでまとめたら、より白菜らしく見えてきました!ブロッコリーは、小さな芽が出てきて毎日「大きくなったかな～」と観察している子どもたちです!とある日には、キャベツに青虫を発見!!葉っぱが切れているところは、青虫が食べたんだね～と言って優しく様子を見守っていました。水やりは、午後外遊びをしているときに毎日あげてくれています!早く収穫して、食べたいねと子どもたちと話しています♡



秋の栽培に「いちご」と「人参」に決めたばんだ組。毎日の水やりを楽しみに行っていきます。まだ収穫には至りませんが、いちごは実が付き始めました。大きくなるように雑草を抜くことにも余念がありません。「雑草を抜くのはどうして?」「いちごにたくさん栄養をあげるからだよね。」と友だちの疑問に対して答えてくれるお友だちもいました。春になり、いくつ収穫できるかとても楽しみです。お給食の時、食具に必ずお箸を用意するようにしました。お箸を頑張る姿が見受けられますが、食べにくい時は自分でスプーンやフォークを選択して食事をしています。日々の繰り返しに身に付く一歩ですね。



きりんぐみでは、冬の栽培としてはつか大根と人参の栽培を行いました。はつか大根はすぐに芽が出て子どもたちも毎日プランターを覗いては「先生、大きくなってきてる」と成長を楽しみにしていました。収穫の際には、大根の葉に棘があり、「痛い」と言いながら収穫し、「大根って痛んだね、初めて知ったよ」と触れたからこそわかることがあったようです。人参も葉が大きくなり、「水あげていい?」と水をあげて、収穫を楽しみにしています。また、昼食のメニューやおやつを見て「これはどうやって作ってるんだろ?」と疑問を持ち、調理の職員に直接聞きに行き、作り方を聞いたり食材や食事に興味を持っている様子が見られます。関心が広がり、更に食や食材に対して不思議がる気持ちを持ってもらえるように保育を行っていきたいと思っています。